

責任投資原則(PRI) は

機関投資家が長期的に投資することを促進する枠組み

投資の意思決定プロセスに、環境、社会、企業統治

(ESG)問題を考慮に入れることで価値を変える原動力となる

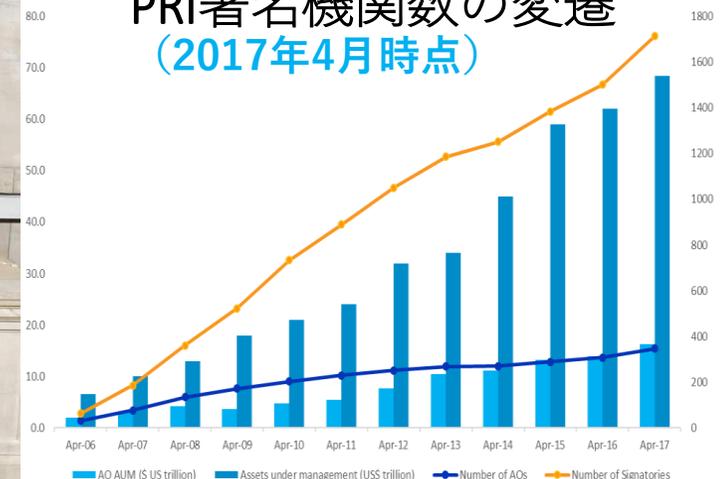
原則に賛同署名する機関は世界で1700を超え、その運用資産は70兆ドル以上国連が支援する取り組み

PRI署名機関が従う6つの投資原則

1. 投資分析、意志決定
2. 活動的な株式所有者
3. 開示
4. 働きかけ
5. 協働
6. 報告



PRI署名機関数の変遷 (2017年4月時点)

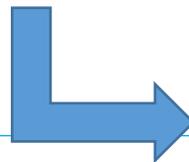


2017年およびそれ以降の PRI SDGアジェンダ

SDGs はPRI Blueprintの中心的な取り組み

PRIの6つの主なSDGsへの取り組み:

- **SDGsの活動マップの作成**：世界的なSDGsにおけるPRIの役割を定義し、他の関連機関との協力および貢献を求める
- **SDG投資のケース**：投資家がSDGsに注目するのかを明確にする
- **持続可能な金融システムの一部としてのSDGs**：持続可能な金融システムに関するPRIの活動の一環として、「外部性」に対する明確な政策アプローチを開発する
- **投資戦略、投資判断にSDGsの統合に関する投資実務ガイダンスを提供する**（原則1）
- **活動的な所有者になり、所有方針と所有慣行にSDGsの課題を組み入れる**（原則2）
- **SDGのパフォーマンスの測定と報告**：企業や投資対象の主体（原則3）および投資家（原則6）に対してESGおよびSDGsについて適切な開示を求める



企業活動と投資の好循環